

## 日本パーソナリティ心理学会第14回理事会・第71回常任理事会合同会議

日時：平成17年11月11日（金）16：45～18：50

場所：大沢温泉山水閣会議室

出席者：杉山，青柳，尾見，北村，黒沢，首藤，高比良，中村，繁多，松田，山岡，山崎，堀毛，加藤

委任：安藤寿，安藤典，浮谷，内山，岡村，川野，坂元，菅原，西野，文野，向田，村井

### 報告事項

#### 1 会員異動（北村事務局長）

2005年には、新入会員が58名、現在の会員数は720名。会員は増加傾向にある。

2004年度末退会者17名、2005年度退会者は3名。

5名の新入会申し込みがあり、承認された。

会費未納者へは11月中に督促の上、2年以上滞納した場合、今年度末に退会となる。

#### 2 各種委員会

##### （1）機関誌編集委員会（首藤委員長）

現在の審査状況、これまでの機関誌発行状況について報告があった。

2005年から、年間3号となる旨が報告された。なお、2005年14巻第3号は特集号「パーソナリティ研究のための因果推論的解析法」を掲載予定。電子投稿と査読を2006年4月より開始予定。論文へのアクセス数（ダウンロード数）の多い論文（アクセス大賞）を、総会で報告する。第14期編集委員会の組織について報告された。

機関誌の（会員でない）機関講読の年間購読料について年間9000円とすることにした。

##### （2）広報委員会

委員長に文野洋（首都大学東京）が就任、委員2名の交代が報告された。

##### （3）経常的研究交流委員会

公開ワークショップ、高校生向け心理学体験講座を開催。第14回大会へ3つの企画を開催。個性をテーマとした公開講演会を計画中。

##### （4）インターネット運用委員会（山崎委員長）

学会広報としてのメールニュースと自由投稿の2本立てでメール配信を行っていく。

##### （5）学会大会活性化委員会（松田担当理事）

大会の「優秀大会発表賞」について報告があり、議論を行った。まず、今大会で開始してみる。研究相談コーナーを大会中設ける。

#### 3 日本心理学諸学会連合（杉山理事長）

試験による認定制度について、委員の大幅な交代があり交代した委員により今後の方針が決定される旨、報告された。

#### 4 学会連合格「臨床発達心理士」(杉山理事長)

認定運営機構の理事長が交代し、日本発達心理学会の無藤隆先生が機構の理事長となった。

#### 5 第13回大会報告(青柳理事・13回大会委員長)

早稲田大学での大会参加者202名、ポスター発表73名、講演3件、シンポジウム7件の報告、ならびに会計報告がなされた。

#### 6 第14回大会報告(堀毛準備委員長)

現在の発表予定者数、シンポジウム、ワークショップ、小講演について説明がなされた。

#### 7 第15回大会開催校

開催校は東京富士大学、岡村一成先生を準備委員長とすることが報告された。

### 審議事項

#### 1 2004年度決算

年間3号体制への移行を見て、今回の決算から機関誌3号分の決算が行われ、その増額分のため基本基金積立費をとりやめていることが説明され、前回の常任理事会において承認された資料から3点の修正点の説明がなされた。監事より承認が得られたことが説明され(監事:岡村一成(11月7日承認)・繁多進(11月9日承認))、本理事会において改めて承認された。

#### 2 2005年度予算

機関誌が年間3号体制になる予算案を提示し、承認された。

#### 3 処分規程について(杉山理事長)

「会員処分に関する規程(案)」が提示され、この規程に伴い、「日本パーソナリティ心理学会会則」第7条を改定する案が提示され、討議の結果、総会に諮ることが決定した。

### 総会での報告・審議

11月13日に岩手大学学生センター棟G1大講義室で、第14回会員総会が開催され、上記報告がなされるとともに、理事会提案事項がすべて承認された。